

古賀市海津木苑運営委員会(2025(令和7)年度4月期) 会議録

1. 日時: 2025(令和7)年4月22日(火)14時00分 開会
 2. 場所: 古賀市海津木苑 研修室

3. 出席委員(13名)

委員長	渡 孝二	副委員長	安武 正一
委員	宮本 政嗣	委員	平木 尚子
委員	伊藤 康義	委員	三好 孝司
委員	宮城 義継	委員	魚住 直枝
委員	池見 裕治	委員	長崎 裕治
委員	野村 哲也	委員	星野 孝一
委員	浦野 英浩		

4. 欠席委員(1名)

簗原 弘二委員

5. 傍聴者数

なし

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	簗原 浩	環境課長	石倉 明
海津木苑長	小山 貴史	海津木苑係長	三好 弘実
海津木苑職員	■■■■■		

概要

14:00 開会

1. 古賀市あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 会議録について
 - ① 2月期会議録 渡委員長 三好委員
 - ② 4月期会議録署名 (渡委員長)(宮城委員)
 - (2) 海津木苑運営に関する実施状況について
 - ① 2024(令和6)年度年間処理状況

資料1

資料2

海津木苑長より説明

【質問】

副委員長

:古賀市においては、搬入量が減っているが、理由として下水道の整備が進んでいるからと認めていいか。

【回答】

海津木苑長

:下水道の整備が進んでいるためと考えられる。下水管が整備されているがまだ、接続がされていない家庭の接続もある。

【質問】

副委員長

:現海津木苑(3代目)を受け入れる協議の時に、搬入量が減っていくようになっていた。比例して下水道の整備が進んでいるためと思い質問をさせていただいた。
下水道の整備が進んでいるため搬入量が減ってきていると認識してもよろしいか。

【回答】

海津木苑長

:基本的な認識のとおりです。基本的に下水管に接続されればし尿及び浄化槽汚泥は減少していく。公共下水道についても現在青柳で整備を進めているところです。接続が進めば搬入量は減少する。

【質問】

委員

:令和7年3月で処理量が98.1%、令和6年度平均が94.89%、今後減少してくださると思うが、当初搬入量が減少していくと説明を受けていたが、処理量が99%、98%という月がある。100%になることはないだろうが、いつぐらいに減少に転じるのだろうか、わかるのであれば教えていただきたい。

【回答】

海津木苑長

:爆発的に下がるということはない。日々下水管に接続されて減少していくものとする。特に4月に処理量が高いのは浄化槽の汚泥引抜時期が偏っているため、また公共下水道に接続されるため、浄化槽の汚泥引抜の必要が出てくる。月ごとの差異が生じる。今後減少していくものと認識をして

いる。

【意見】

委員 :過去のことを考えると処理量が100%に近いということで不安がある。処理が適正にされていることは認識している。今後とも努力をしていただき、処理に対する割合を減らしていただきたい。

②2020(令和2)年度～2024(令和6)年度処理及び維持管理費比較 資料3

海津木苑長より説明

質疑 なし

(3)2024(令和6)年度第3回臭気測定結果について 資料4

海津木苑係長より説明

予定立会者(簗原委員)(魚住委員)

実施日 2月27日(木)

質疑 なし

(4)海津木苑施設啓発について 資料5

海津木苑係長より説明

【意見】

委員 :施設見学を受けて、以前施設見학을させていただいたときより丁寧な説明をしていただいた。素晴らしい施設が古賀市にあるなんてと驚いていた。

【要望】

副委員長 :現在、施設見学が多くなっていることを聞いているが、仮事務所および旧処理棟の解体工事の関係で施設見学が不便な点があると思うが、創意工夫していただくようお願いする。施設見学の内容も充実してきているため、古賀市内外にも発信できるようもう一工夫をお願いする。分館の校区代表で

社同推の役員をしているが、総括があったが、区長や分館長の中に初めて人権学習を受けた方もいた。海津木苑の施設見学の内容で、人権啓発も行っているので、人権センターと連携を取りあい人権啓発が進むようお願いする。

【要望】

委員長 : 昨年、一昨年の食の祭典で玄関前に啓発パネルを設置していたが、海津木苑入口あたりで海津木苑の啓発等を行ってもいいのではないか。

【回答】

海津木苑長 : 今年度の食の祭典では海津木苑入口で啓発活動を行うようにする。仮事務所があったときはトイレ利用者に向けて啓発活動を行っていた。新施設においてもトイレ利用も増えるため、啓発活動を行う。

【回答】

副市長 : 海津木苑ができた経緯を踏まえるとし尿処理とともに、人権啓発の拠点ととらえている。古賀市外の方にも含めて、啓発を行っていく。また海津木苑の職員と協議を行い、前向きに取り組んでいく。

(5)2024(令和6)年度施設整備実績及び

2025(令和7)年度背節整備計画について資料6

海津木苑職員より説明

【要望】

副委員長 : 施設が新しいが、これから様々な整備工事が出てくるが、文字だけでなく、フロー図も入れてわかりやすくしていただきたい。

5. 報告事項

(1)海津木苑周辺整備(解体工事)について

資料7

- ・工事スケジュール
 - ・工事スケジュール
- 海津木苑職員より説明

【質疑】

委員

:解体工事に伴って、アスベストを除去するということで、慎重にしていかなければならない。旧施設でアスベストを40年間使用してきているわけだが、職員の健康面は大丈夫なのか。職員が入らない場所であれば安心だが、状況をお聞きしたい。

【回答】

環境課長

:アスベストは壁材で使用されているが、通常は飛散はしない。日常においては職員に影響はない。解体時にアスベストが飛散してしまう。飛散防止のため養生等を行い解体を行っている。

【質疑】

委員

:40年間施設を使用してきているわけだが、劣化によって飛散することはないのか。

【回答】

環境課長

:壁を扱わない限り飛散することはない。老朽化で飛散することはなく、解体時に壁を扱うため飛散するため飛散防止をおこなっている。

【質疑】

委員

:壁を扱ったことはないのか。

【回答】

海津木苑職員

:外壁の塗直しをしているが、その時も飛散防止を行っている。

【質疑】

委員

:アスベストが問題になったときにアスベストを使用しないようにする時期があった。40年間使用している。その間の

職員の健康面が心配になる。一度外壁を塗りなおしをしているがアスベストの飛散防止策はされているということで理解をされていていいか。

【要望】

委員長 :アスベスト除去工事が終わっているのであれば、経年劣化などがあれば報告書を提出していただきたい。

【回答】

環境課長 :わかりました。

【要望】

副委員長 :周辺整備について日数がかかるのはわかるが、施設見学等もあると思うが、できるだけ短い日数で願いたい。

【回答】

海津木苑長 :解体工事が令和8年度9月末までの予定されている。解体工事を睨みながらスピーディーに進めたい。

【要望】

副委員長 :周辺整備について何か変化があれば報告を願いたい。

- (2)薬品の漏洩について
 - (3)設備安全点検について
- 海津木苑長より説明

資料 8

【質疑】

委員 :職員から報告で発覚したとあるが、一日に点検は何回かされているのか。

【回答】

海津木苑係長 :毎朝職員が点検をしている。夜間休日についても委託業者も点検を行っている。

【質疑】

副委員長 :薬品の漏洩で臭気や危険性のガスが発生したか、薬品の液漏れなどは、警告などは出るのか。

【回答】

海津木苑係長 :薬品の漏洩では警告等はない。施設点検を行っていく上でカナデビアと協議を行っていく。職員の安全確保ができるように行っていく。

(4)フロアタイルの不具合について

資料 9

海津木苑長より説明

質疑 なし

(5)施設の瑕疵担保期間について

資料 10

質疑 なし

6.その他

15時 10 分 閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和 7 年 5 月 30 日

委員長



委員長の指名する出席委員



